



巻頭言

新年のご挨拶 病院長

よこやま のぼる
横山 登



あけましておめでとうございます。2026年の年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。2025年は、昭和大学にとって節目の年となりました。4月より、医療系総合大学として開校当初の校名である「昭和医科大学」へと改称いたしました。開校100周年を迎えるにあたり、次の100年に向けて「医療系大学」であることをより明確に示す思いを込めた変更であります。

また、昨年は1970年以来約半世紀ぶりとなる「2025大阪・関西万博」が開催されました。1970年当時、私は小学生として万博を訪れ、太陽の塔の印象が鮮烈に残っております。今回もぜひ訪れたいと願っておりましたが叶いませんでした。しかし、多くの子どもたちに夢を与える素晴らしいイベントとして、世界各国から多数の来場者があったと報道されております。

当病院においても新たな取り組みを開始いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大により延期されていた病児・病後児保育事業を、昨年1月より病院内に設置いたしました。小児科病棟に隣接し、安心してお子様をお預けいただける環境を整え、多くの方々にご利用いただいております。

本年は、私が病院長に就任以来取り組んできた病診連携・病病連携の目標である「お断りゼロ」を実現いたします。先生方からのご依頼には“はい” “Yes”で即座に紹介患者を受け入れます。具体的には、各診療科の受け入れ態勢を見直し、救急診療科の最大限の協力のもと、早期受け入れを可能とし「お断りゼロ」を実現いたします。さらに、近隣医療機関の先生方との「二人主治医制」を一層強化してまいります。

今年は丙午（ひのえうま）の年であり、60年に一度巡ってくる特別な干支です。飛躍・成功・勝負運を象徴し、事業の発展や努力が結実する年とされています。江東豊洲病院もさらなる飛躍を遂げ、これまでの努力が実を結ぶ一年となることを願い、職員一同、地域の皆様との連携を一層深めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



第141号のトピックス

- ・巻頭言（新年のご挨拶）
- ・江東区立豊洲西小学校との交流
- ・バルーンアートを寄贈いただきました
- ・令和7年度医療安全推進週間 活動報告
- ・世界糖尿病デーイベントを開催しました
- ・江東区シーサイドマラソン大会 医療活動報告
- ・ご意見・ご要望
- ・編集後記

Report

江東区立豊洲西小学校との交流

当院では、地域の皆さんと共に歩む病院を目指し、江東区立豊洲西小学校の児童の皆さんに医療や健康について理解を深めてもらえるよう、病院見学や職員による授業協力を行っています。

11月27日（火）に江東区立豊洲西小学校の1年生が当院の中庭に実ったぽんかん、はっさくの収穫体験を行いました。当日は広く晴れ渡る青空の下、子どもたちは果実の香りを楽しんだり、うまくもぎ取れずに苦戦したりしながらも、元気いっぱいに果実を摘み取り、自然の恵みを実感しました。



また、12月11日（木）・12日（金）の両日、豊洲西小学校にて、10月に当院で実施した授業内容の発表会が開催されました。本発表会には当院職員も招待いただき、児童による成果発表をブースごとに回って聴講しました。子供たちはグループごとに工夫を凝らした展示や説明を行い、来場者に対して熱心に発表していました。児童の学びを支える活動として、地域と医療機関の連携を確認する機会となりました。



バルーンアートを寄贈いただきました

この度、「lucaemma 小児病棟支援プロジェクト」よりバルーンアートをご寄贈いただきました。

いただいた emma のバルーンはこどもセンター病棟に飾られ、入院中の子供たちの療養環境の充実につながり闘病生活の励みとなっています。このような温かいご支援をいただけることに、職員一同心より感謝申し上げます。

今後とも子供たちが安心して療養できる環境づくりに努めてまいります。



令和7年度医療安全推進週間 活動報告

もりた まさし
医療安全管理室室長 / 森田 将

厚生労働省は、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。今年度も「患者・ご家族・職員参加型医療安全週間」をテーマに11月23日（日）～11月29日（土）の期間で活動しました。

今後も更なる医療安全文化の醸成に向けて取り組んでまいりますので、医療安全管理室の活動に対しご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



取り組み内容

- ①職員から募った標語の掲示及び投票
- ②医療安全に関するアンケート調査
- ③医療安全管理室の取り組みの掲示



医療安全標語の掲示と投票

世界糖尿病デーイベントを開催しました

おさむら あんな
糖尿病・代謝・内分泌内科 / 長村 杏奈

11月14日はWorld Diabetes Day（世界糖尿病デー）です。世界糖尿病デーは、糖尿病の予防や治療継続の重要性を広く周知することを目的として、国際糖尿病連合（IDF）と世界保健機関（WHO）により制定されました。当院ではこれに先立ち、11月13日（木）に院内イベントを開催しました。当日は血糖値測定や、過去1～2か月分の血糖管理状況を示すHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）の測定を実施しました。また、医師による個別相談、パンフレットの配布、管理栄養士による展示を行い、来場者に糖尿病予防や生活習慣改善の重要性を伝える機会となりました。

本イベントは来年度以降も継続開催を予定しております。ぜひご参加ください。



当日の展示

江東シーサイドマラソン大会 医療活動報告

11月30日（日）に江東区夢の島競技場で行われた第43回江東シーサイドマラソン大会へ泌尿器科 森田将教授が派遣され、傷病者の医療救護活動を行いました。

当日は心肺停止や不整脈による救急搬送事例もありましたが、大事には至らず大会は終了しました。



ご意見・ご要望

感謝	回答
<p>主治医の先生や看護師の方々をはじめとして、食事や検査、清掃などに携わってくださった人たちに、最大限感謝の気持ちをお伝えしたいです。安心して過ごすことができました。</p> <p>この度は本当にありがとうございました。</p>	<p>励みになるお言葉をいただきありがとうございます。引き続き最良の医療を目指して努力させていただきます。</p> <p>回答部署：循環器内科</p>



編

あけましておめでとうございます。過ごしやすい秋の気候はあっという間に過ぎ去り、寒い季節がやってきて、寒暖差の激しさを実感する毎日です。今年は午年。馬は元々農耕民族である日本人には、田畠の手入れには欠かせないパートナーであったことから、馬には豊作や健康といった意味があるそうです。あまり馬と医療の関連は強くないように思われますが、心臓に聴診器を当てる時、馬が駆けているように聴こえる「奔馬調律(ほんばちょうりつ)」という特徴的な音がすることがあります。これは心不全に特徴的な音です。寒さの厳しい季節、寒暖差の激しい季節は、感染症に加えて、心臓や血管の病気も多くなる季節です。規則正しい生活や休息を心がけて、今年も寒い冬を何とか乗り切りましょう。

集

後

記

おなか こうすけ
心臓血管外科 ／ 尾仲 紘輔



昭和医科大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
TEL03-6204-6000(代表)
発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文

